

# 那珂市自転車の利用に関する意識調査（市民アンケート）状況報告

## 【1】アンケートの実施状況

那珂市民における自転車の利用状況を把握するため、以下の要領で、アンケートを実施しました。

### 1. アンケートの調査対象

- ・那珂市に居住する 15 歳以上 70 歳未満の方を対象に 1,000 人を無作為に抽出
- ※ただし、調査票については、2 部ずつ（2 名分）送付し、ご家族の記入も可とした

### 2. 実施期間

- ・発 送： 令和元年 11 月 29 日（金）
- ・回収〆切： 令和元年 12 月 16 日（月）

### 3. アンケートの回収状況

	封書数	アンケート返信数
回収数	262	416
配布数	1,000	2,000
回収率	26.2%	20.8%

### 4. 主な質問内容

#### （1）基本属性

- ・居住地区、性別、年代、運転免許証

#### （2）自転車所有の状況

- ・自転車の有無、自転車保険の加入状況

#### （3）日常的な生活圏

- ・主な行動圏、主な目的
- ・駅までの自転車利用

#### （4）自転車利用の状況

- ・自転車の利用頻度、利用の理由、利用範囲、移動時間
- ・安全対策、危険な経験・行為

#### （5）自転車利用に対する関心

- ・自転車利用の意志、サイクリングの経験

#### （6）自転車利用の促進に必要な施策

- ・利用促進、観光・交流に必要な施策
- ・安全対策が必要な場所、市内で活用したい場所

## 【2】アンケートの調査結果の概要

### 1. 回答者の基本属性

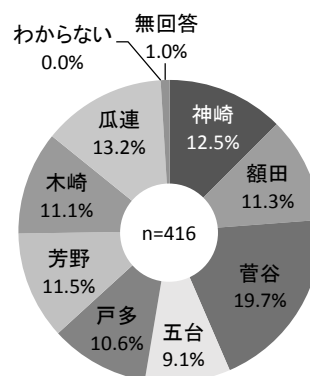
#### 【質問1】回答者の居住地区

回答者の居住地区をみると、市内全域から居住者数に比例して回答をいただいています。

表一回答者の居住地区（SA）

	選択肢	回答数	構成比	（除無回答）
1	神崎	52	12.5%	12.6%
2	額田	47	11.3%	11.4%
3	菅谷	82	19.7%	19.9%
4	五台	38	9.1%	9.2%
5	戸多	44	10.6%	10.7%
6	芳野	48	11.5%	11.7%
7	木崎	46	11.1%	11.2%
8	瓜連	55	13.2%	13.3%
9	わからない	0	0.0%	0.0%
	無回答	4	1.0%	-
n=		416	100.0%	412

図一回答者の居住地区（SA）



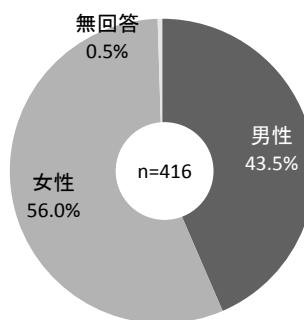
#### 【質問2】回答者の性別

回答者の性別をみると、「女性」の回答者が若干多くなっています。

表一回答者の性別（SA）

	選択肢	回答数	構成比	（除無回答）
1	男性	181	43.5%	43.7%
2	女性	233	56.0%	56.3%
	無回答	2	0.5%	-
n=		416	100.0%	414

図一回答者の性別（SA）



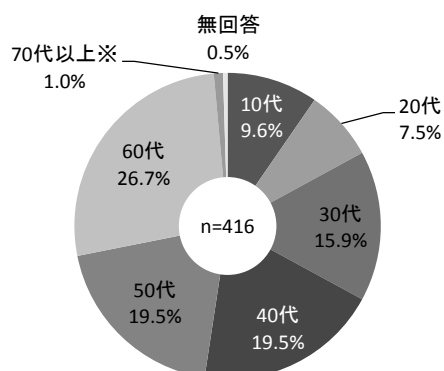
#### 【質問3】回答者の年齢

回答者の年齢をみると、「60代」が最も多く、次いで「40代」「50代」が多く、中高年層での関心の高さがうかがえます。

表一回答者の年齢（SA）

	選択肢	回答数	構成比	（除無回答）
1	10代	40	9.6%	9.6%
2	20代	31	7.5%	7.5%
3	30代	66	15.9%	15.9%
4	40代	81	19.5%	19.5%
5	50代	81	19.5%	19.5%
6	60代	111	26.7%	26.7%
7	70代以上※	4	1.0%	1.0%
	無回答	2	0.5%	-
n=		416	100.0%	416

図一回答者の年齢（SA）



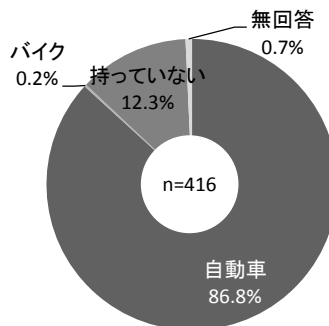
【質問4】運転免許を持っているか

回答者の免許の有無をみると、「自動車」の免許を持つ人は8～9割で、何も「持っていない」人は1割程度となっています。

表一回答者の免許の所有状況（SA）

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 自動車	361	86.8%	87.4%
2 バイク	1	0.2%	0.2%
3 持っていない	51	12.3%	12.3%
無回答	3	0.7%	-
n=	416	100.0%	413

図一回答者の免許の有無（SA）



2. 自転車所有の状況

【質問5】自転車の所有状況

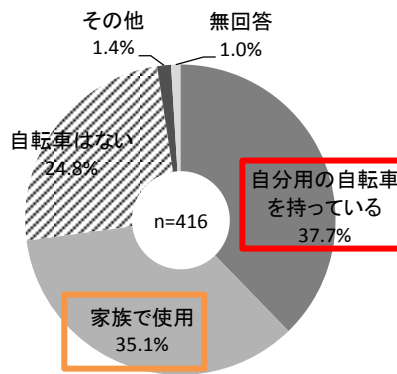
回答者の自転車の所有状況をみると、「自分用の自転車を持っている」人は約4割で、「家族で使用」する自転車がある人を含めると7割以上が自転車を所有する状況となっています。（「その他」は「故障している」など）

また、所有する自分用の自転車の種類は、「シティサイクル（ママチャリ等）」が7割となっています。

表一回答者の自転車の所有状況（SA）

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 自分用の自転車を持っている	157	37.7%	38.1%
2 家族で使用	146	35.1%	35.4%
3 自転車はない	103	24.8%	25.0%
4 その他	6	1.4%	1.5%
無回答	4	1.0%	-
n=	416	100.0%	412

図一回答者の自転車の所有状況（SA）

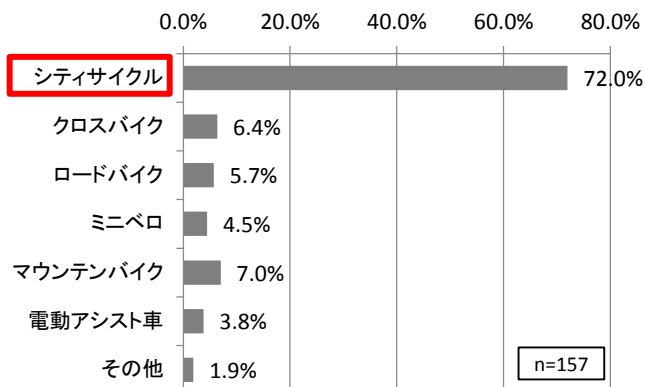


【質問6】  
【質問9】  
～  
【質問14】

表一自分用の自転車の種類（MA）

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 シティサイクル	113	72.0%	73.9%
2 クロスバイク	10	6.4%	6.5%
3 ロードバイク	9	5.7%	5.9%
4 ミニベロ	7	4.5%	4.6%
5 マウンテンバイク	11	7.0%	7.2%
6 電動アシスト車	6	3.8%	3.9%
7 その他	3	1.9%	2.0%
無回答	4	2.5%	-
(合計)	163	103.8%	103.9%
n=	157	100.0%	153

図一自分用の自転車の種類（MA）



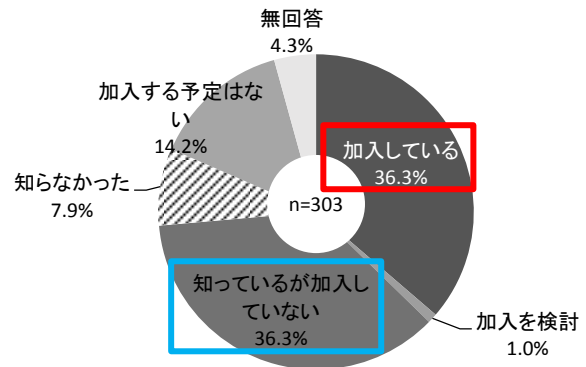
### 【質問6】自転車保険への加入

【質問5】で自転車を持っている人の中で、「自転車保険に加入している」人は4割弱で、「知っているが加入していない」と同じ割合となっており、事故に備えた加入の促進が必要となっています。

表一 自転車保険への加入 (SA)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 加入している	110	36.3%	37.9%
2 加入を検討	3	1.0%	1.0%
3 知っているが加入していない	110	36.3%	37.9%
4 知らなかった	24	7.9%	8.3%
5 加入する予定はない	43	14.2%	14.8%
無回答	13	4.3%	-
n=	303	100.0%	290

図一 自転車保険への加入 (SA)



### 3. 日常的な生活圏

#### 【質問7】日常的にどのような範囲で生活をしているか

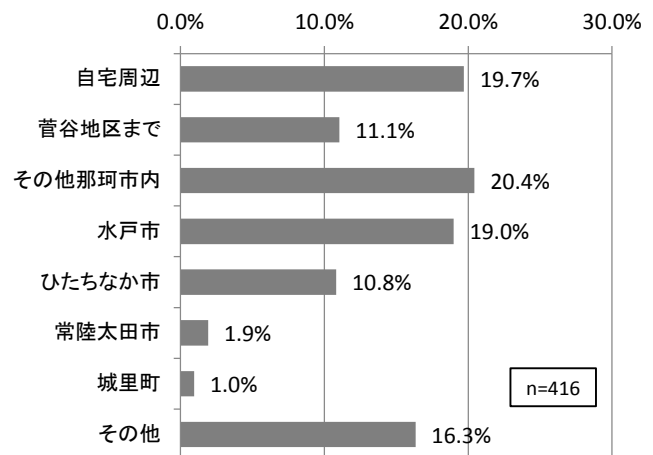
平日の主な行動圏をみると、「自宅周辺」「菅谷地区まで」「その他那珂市内」といった市内で生活している人が5割で、そのほか「水戸市」が2割、「ひたちなか市」が1割などとなっています。

一方、主な目的は「仕事」が半数以上で、「買い物」は2割となっています。

表一 平日 主な行動圏 (MA※)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 自宅周辺	82	19.7%	20.2%
2 菅谷地区まで	46	11.1%	11.3%
3 その他那珂市内	85	20.4%	20.9%
4 水戸市	79	19.0%	19.5%
5 ひたちなか市	45	10.8%	11.1%
6 常陸太田市	8	1.9%	2.0%
7 城里町	4	1.0%	1.0%
8 その他	68	16.3%	16.7%
無回答	10	2.4%	-
(合計)	427	102.6%	102.7%
n=	416	100.0%	406

図一 平日 主な行動圏 (MA)

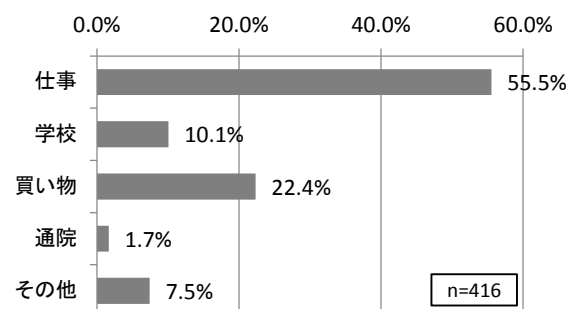


※一つ選択だったが複数回答で集計

表一 平日 主な目的 (MA※)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 仕事	231	55.5%	59.1%
2 学校	42	10.1%	10.7%
3 買い物	93	22.4%	23.8%
4 通院	7	1.7%	1.8%
5 その他	31	7.5%	7.9%
無回答	25	6.0%	-
(合計)	429	103.1%	103.3%
n=	416	100.0%	391

図一 平日 主な目的 (MA)



※一つ選択だったが複数回答で集計

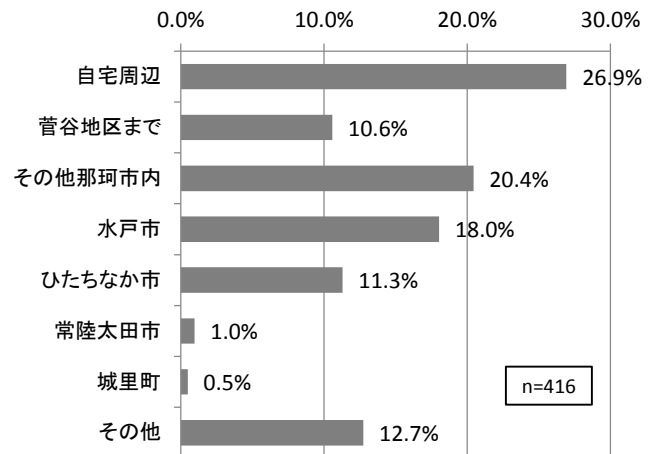
土日祝日の主な行動圏をみると、主に「自宅周辺」「菅谷地区まで」「その他那珂市内」などの市内で生活する人は約6割、そのほかは平日と同様に「水戸市」が2割、「ひたちなか市」が1割となっています。主な目的は「買い物」が6割以上で、その他の項目は1割未満となっています。

表―土日祝日 主な行動圏 (MA※)

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 自宅周辺	112	26.9%	28.1%
2 菅谷地区まで	44	10.6%	11.0%
3 その他那珂市内	85	20.4%	21.3%
4 水戸市	75	18.0%	18.8%
5 ひたちなか市	47	11.3%	11.8%
6 常陸太田市	4	1.0%	1.0%
7 城里町	2	0.5%	0.5%
8 その他	53	12.7%	13.3%
無回答	17	4.1%	-
(合計)	439	105.5%	105.8%
n=	416	100.0%	399

※一つ選択だったが複数回答で集計

図―土日祝日 主な行動圏 (MA)

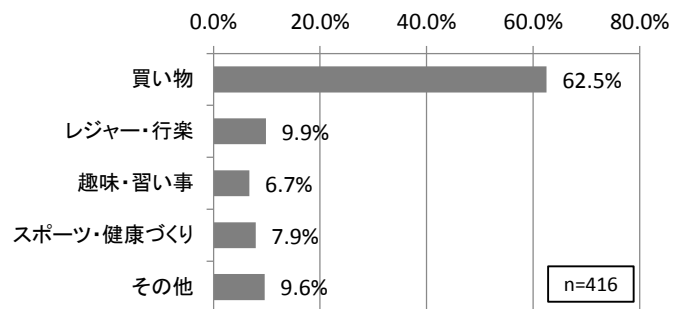


表―土日祝日 主な目的 (MA※)

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 買い物	260	62.5%	67.7%
2 レジャー・行楽	41	9.9%	10.7%
3 趣味・習い事	28	6.7%	7.3%
4 スポーツ・健康づくり	33	7.9%	8.6%
5 その他	40	9.6%	10.4%
無回答	32	7.7%	-
(合計)	434	104.3%	104.7%
n=	416	100.0%	384

※一つ選択だったが複数回答で集計

図―土日祝日 主な目的 (MA)



【質問8】どのような交通手段を利用しているか

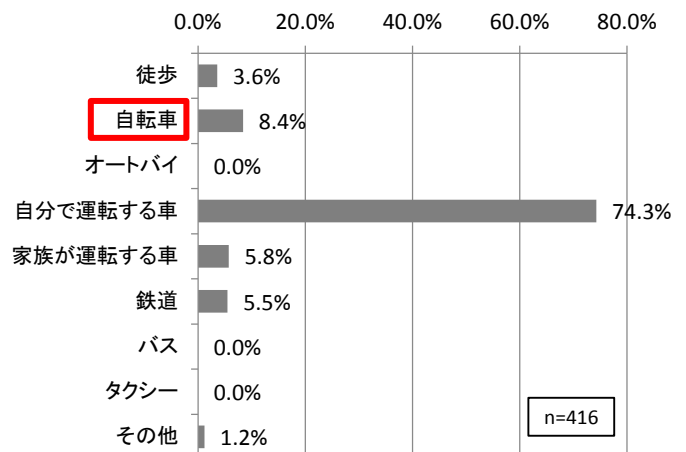
【質問7】で回答した場所に行く際にどのような交通手段を利用しているかをみると、平日は「自分で運転する車」が7割を超え、「自転車」は約8%と少なくなっています。

表―平日 交通手段 (MA※)

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 徒歩	15	3.6%	3.7%
2 自転車	35	8.4%	8.6%
3 オートバイ	0	0.0%	0.0%
4 自分で運転する車	309	74.3%	75.7%
5 家族が運転する車	24	5.8%	5.9%
6 鉄道	23	5.5%	5.6%
7 バス	0	0.0%	0.0%
8 タクシー	0	0.0%	0.0%
9 その他	5	1.2%	1.2%
無回答	8	1.9%	-
(合計)	419	100.7%	100.7%
n=	416	100.0%	408

※一つ選択だったが複数回答で集計

図―平日 交通手段 (MA)



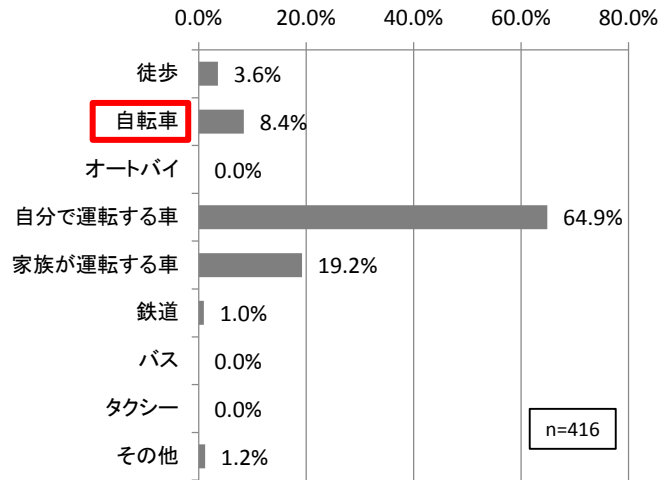
土日祝日の交通手段については、「自分で運転する車」が6.5割、「家族が運転する車」が約2割となり、「自転車」は平日と変わらず約8%となっています。

表一土日祝日 交通手段 (MA※)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 徒歩	15	3.6%	3.7%
2 自転車	35	8.4%	8.6%
3 オートバイ	0	0.0%	0.0%
4 自分で運転する車	270	64.9%	66.7%
5 家族が運転する車	80	19.2%	19.8%
6 鉄道	4	1.0%	1.0%
7 バス	0	0.0%	0.0%
8 タクシー	0	0.0%	0.0%
9 その他	5	1.2%	1.2%
無回答	11	2.6%	-
(合計)	420	101.0%	101.0%
n=	416	100.0%	405

※一つ選択だったが複数回答で集計

図一土日祝日 交通手段 (MA)



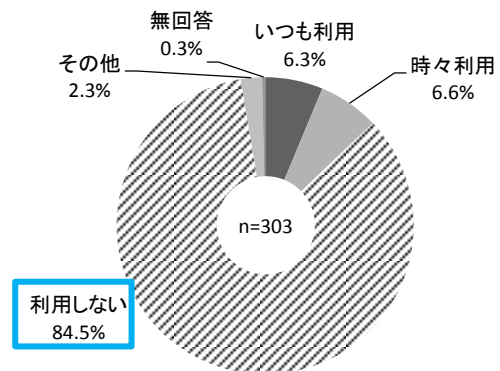
【質問9】 駅まで自転車を利用するか

自転車所有者（【問5】で「自分用の自転車を持っている」又は「家族用で使用する自転車がある」と回答した人）が駅まで自転車を利用するかどうかをみると、「利用しない」が8割を超えており、利用する人（「いつも利用」「時々利用」）は1割程度となっている。

表一駅まで自転車を利用するか (SA)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 いつも利用	19	6.3%	6.3%
2 時々利用	20	6.6%	6.6%
3 利用しない	256	84.5%	84.8%
4 その他	7	2.3%	2.3%
無回答	1	0.3%	-
n=	303	100.0%	302

図一駅まで自転車を利用するか (SA)



#### 4. 自転車利用の状況

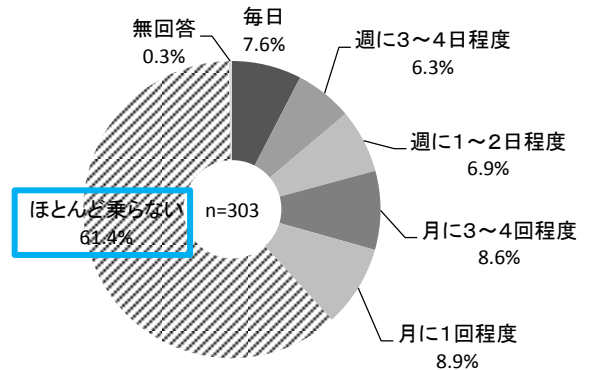
##### 【質問 10】 自転車の利用頻度

自転車所有者について自転車の利用頻度をみると、「ほとんど乗らない」が6割で、月に1回以上乗る人が4割、さらに週1回以上の頻度で乗る人は約2割となっています。本市では日常的に乗る人よりもたまに利用する人が多いため、誰でも走りやすい環境づくりが重要と考えられます。

表一 自転車の利用頻度 (SA)

	選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1	毎日	23	7.6%	7.6%
2	週に3~4日程度	19	6.3%	6.3%
3	週に1~2日程度	21	6.9%	7.0%
4	月に3~4回程度	26	8.6%	8.6%
5	月に1回程度	27	8.9%	8.9%
6	ほとんど乗らない	186	61.4%	61.6%
	無回答	1	0.3%	-
	n=	303	100.0%	302

図一 自転車の利用頻度 (SA)



##### 【質問 11】 自転車を利用する理由

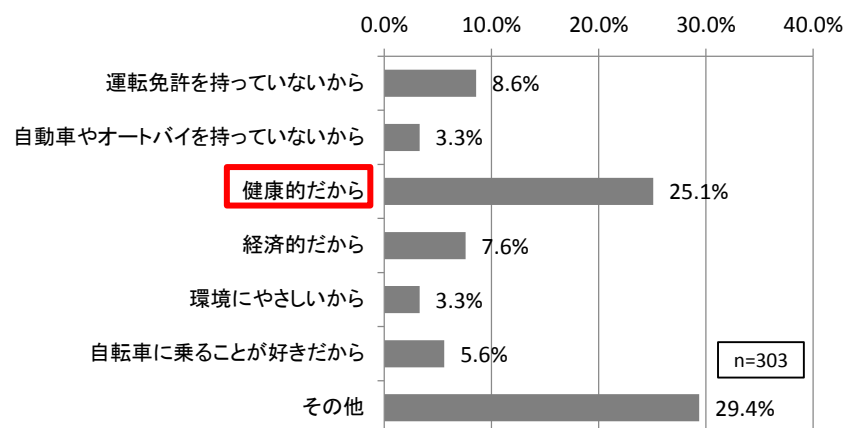
自転車所有者について自転車を利用する理由をみると、「健康的だから」が2.5割で大きな理由となっており、自転車の利用促進を図るうえで重要な視点となることが考えられます。

「その他」には、回覧板等「車に乗るほどではない用事」に利用するなどの理由が挙げられています。

表一 自転車を利用する理由 (MA)

	選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1	運転免許を持っていないから	26	8.6%	10.4%
2	自動車やオートバイを持っていないから	10	3.3%	4.0%
3	健康的だから	76	25.1%	30.3%
4	経済的だから	23	7.6%	9.2%
5	環境にやさしいから	10	3.3%	4.0%
6	自転車に乗ることが好きだから	17	5.6%	6.8%
7	その他	89	29.4%	35.5%
	無回答	52	17.2%	-
	n=	303	100.0%	251

図一 自転車を利用する理由 (MA)



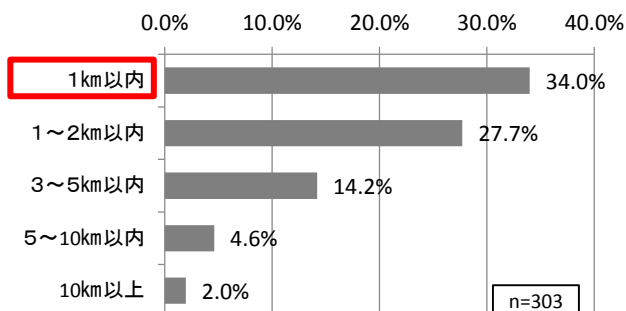
【質問 12】 自転車を利用する範囲

自転車所有者について自転車を利用する範囲をみると、「1 km 以内」又は「1～2 km 以内」で約 6 割となっており、多くの人々が近距離の移動に活用しています。5 km 以上の比較的長距離で利用する人は約 7%と少なくなっています。

表一 自転車を利用する範囲 (SA)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 1km以内	103	34.0%	41.2%
2 1～2km以内	84	27.7%	33.6%
3 3～5km以内	43	14.2%	17.2%
4 5～10km以内	14	4.6%	5.6%
5 10km以上	6	2.0%	2.4%
無回答	53	17.5%	-
n=	303	100.0%	250

図一 自転車を利用する範囲 (SA)



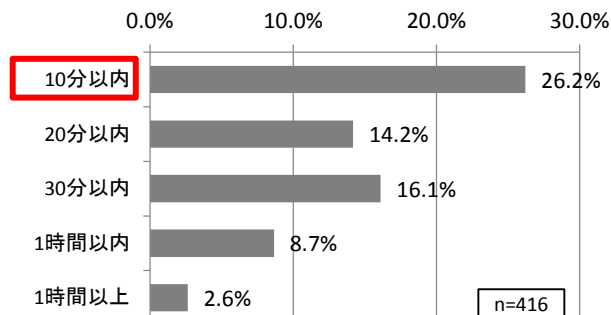
【質問 13】 自転車での移動時間

自転車所有者について自転車での移動時間 (往復) をみると、「10 分以内」が最も多く、全体の半数以上は 30 分以内の移動となっています。「1 時間以上」は、全体の 3%程度となっています。

表一 自転車での移動時間 (SA)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 10分以内	109	26.2%	38.7%
2 20分以内	59	14.2%	20.9%
3 30分以内	67	16.1%	23.8%
4 1時間以内	36	8.7%	12.8%
5 1時間以上	11	2.6%	3.9%
無回答	134	32.2%	-
n=	416	100.0%	282

図一 自転車での移動時間 (SA)



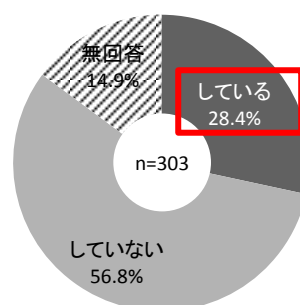
【質問 14】 安全対策はしているか

自転車所有者について安全対策をみると、「安全対策をしている」が 3 割で、全体の半数以上は「安全対策をしていない」と回答しており、自転車利用の促進に際して、安全対策の必要性への理解が課題となっています。

表一 安全対策の有無 (SA)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 している	86	28.4%	33.3%
2 していない	172	56.8%	66.7%
無回答	45	14.9%	-
n=	303	100.0%	258

図一 安全対策の有無 (SA)



■ 具体的な安全対策へ



## ■具体的な安全対策

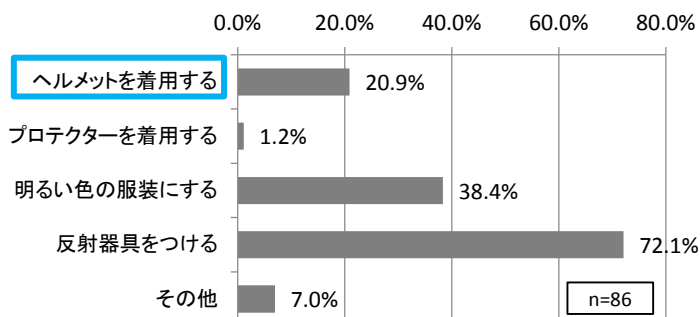
また、「している」と回答した人について、どのような安全対策をしているかをみると、「反射器具をつける」が7割で最も多く、次いで「明るい色の服装にする」が約4割となっています。

一方、「ヘルメットを着用する」は2割程度となっています。

表一具体的な安全対策（MA）

選択肢	回答数	構成比（除無回答）	
1 ヘルメットを着用する	18	20.9%	21.2%
2 プロテクターを着用する	1	1.2%	1.2%
3 明るい色の服装にする	33	38.4%	38.8%
4 反射器具をつける	62	72.1%	72.9%
5 その他	6	7.0%	7.1%
無回答	1	1.2%	-
(合計)	121	140.7%	141.2%
n=	86	100.0%	85

図一具体的な安全対策（MA）



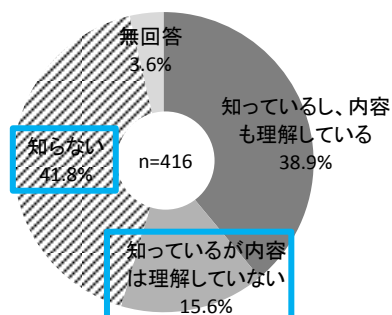
## 【質問 15】「自転車安全利用五則」を知っているか

回答者全員について「自転車安全利用五則」の周知状況を見ると、「知っているし、内容も理解している」が約4割で、「知っているが内容は理解していない」又は「知らない」が約6割となっており、自転車利用の促進に際して、まずは「自転車安全利用五則」の周知徹底が必要と考えられます。

表一「自転車安全利用五則」の周知状況（SA）

選択肢	回答数	構成比（除無回答）	
1 知っているし、内容も理解している	162	38.9%	40.4%
2 知っているが内容は理解していない	65	15.6%	16.2%
3 知らない	174	41.8%	43.4%
無回答	15	3.6%	-
n=	416	100.0%	401

図一「自転車安全利用五則」の周知状況（SA）



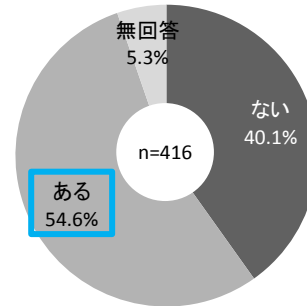
**【質問 16】 自転車での危険な経験の有無**

自転車に乗っている時や他人が乗っている自転車との間で危険な経験をしたことがあるかをみると、「ある」が半数以上となっています。

表一自転車での危険な経験（S A）

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 ない	167	40.1%	42.4%
2 ある	227	54.6%	57.6%
無回答	22	5.3%	-
n=	416	100.0%	394

図一自転車での危険な経験（S A）



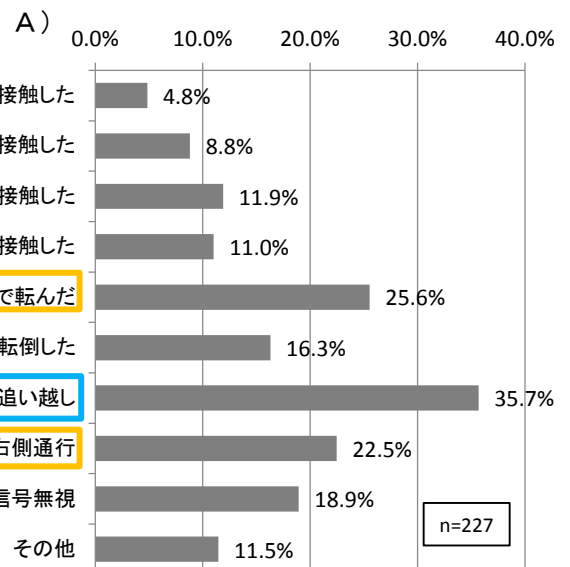
**■16-1 危険な経験の具体的な内容**

自転車に乗っている時や他人が乗っている自転車との間で経験したこと(質問 16 で「2. ある」と答えた方のみ)を具体的にみると、「車道を走っている時の車の追い越し」が3割を超えて最も多く、次いで「道路の凸凹で転んだ」「自転車の右側通行」が2割以上で多くなっており、自転車の走行位置・方向等の適切な誘導や走行環境の改善が課題となっています。

表一危険な経験の具体的な内容（MA）

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 人と接触した	11	4.8%	4.9%
2 自転車と接触した	20	8.8%	8.8%
3 自動車・オートバイと接触した	27	11.9%	11.9%
4 電柱等の路上の障害物と接触した	25	11.0%	11.1%
5 道路の凸凹で転んだ	58	25.6%	25.7%
6 舗装が滑りやすく転倒した	37	16.3%	16.4%
7 車道を走っている時の車の追い越し	81	35.7%	35.8%
8 自転車の右側通行	51	22.5%	22.6%
9 自転車の信号無視	43	18.9%	19.0%
10 その他	26	11.5%	11.5%
無回答	1	0.2%	-
(合計)	380	167.2%	167.7%
n=	227	100.0%	226

図一自転車での危険な経験の内容（M



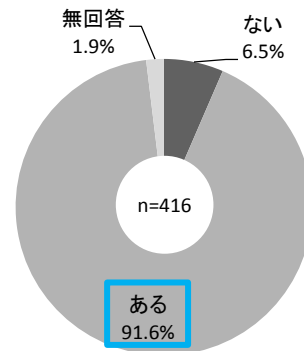
**【質問 17】 自転車が危険だと思う行為**

自転車に乗っている人を見て「危険だな」と思うことはあるかをみると、「ある」が9割以上となっています。

表一 自転車が危険だと思うこと (SA)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 ない	27	6.5%	6.6%
2 ある	381	91.6%	93.4%
無回答	8	1.9%	-
n=	416	100.0%	408

図一 自転車が危険だと思うこと (SA)



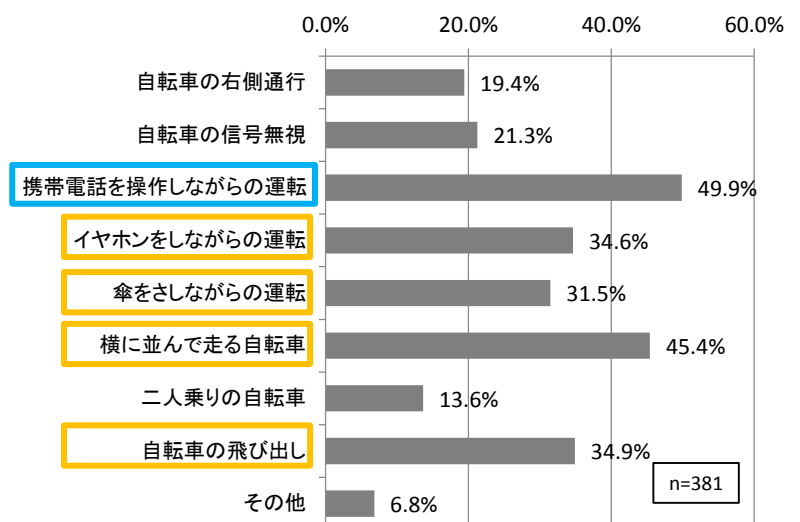
**■ 17-1 危険だと思う具体的な行為**

自転車に乗っている人を見て「危険だな」と思うこと (質問 17で「2. ある」と答えた方のみ) を具体的にみると、「携帯電話を操作しながらの運転」が5割で最も多く、次いで「横に並んで走る」、「自転車の飛び出し」、「イヤホンをしながらの運転」、「傘をさしながらの運転」となっており、自転車に乗る際の適切な安全指導が必要となっています。

表一 自転車が危険だと思う具体的な行為 (MA)

選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1 自転車の右側通行	74	19.4%	19.5%
2 自転車の信号無視	81	21.3%	21.3%
3 携帯電話を操作しながらの運転	190	49.9%	50.0%
4 イヤホンをしながらの運転	132	34.6%	34.7%
5 傘をさしながらの運転	120	31.5%	31.6%
6 横に並んで走る自転車	173	45.4%	45.5%
7 二人乗りの自転車	52	13.6%	13.7%
8 自転車の飛び出し	133	34.9%	35.0%
9 その他	26	6.8%	6.8%
無回答	1	0.2%	-
(合計)	982	257.7%	258.2%
n=	381	100.0%	380

表一 自転車が危険だと思う具体的な行為 (MA)



## 5. 自転車利用に対する関心

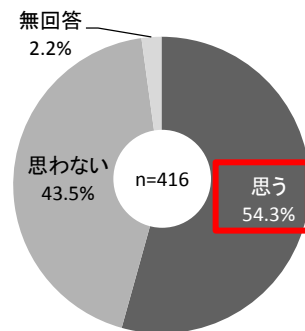
### 【質問 18】 日常生活の中で、自転車を利用してみようと思うか

日常生活の中で自転車を利用してみよう（利用機会を増やしてみよう）と思うかについて、「思う」が半数以上となっており、実際の利用率は低いものの、自転車利用に対する関心は比較的高いと考えられます。

表一 自転車を利用してみようと思うか (S A)

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 思う	226	54.3%	55.5%
2 思わない	181	43.5%	44.5%
無回答	9	2.2%	-
n=	416	100.0%	407

図一 自転車を利用してみようと思うか (S A)



■18-2 自転車の利用促進策

#### ■18-1 利用してみようと思う理由

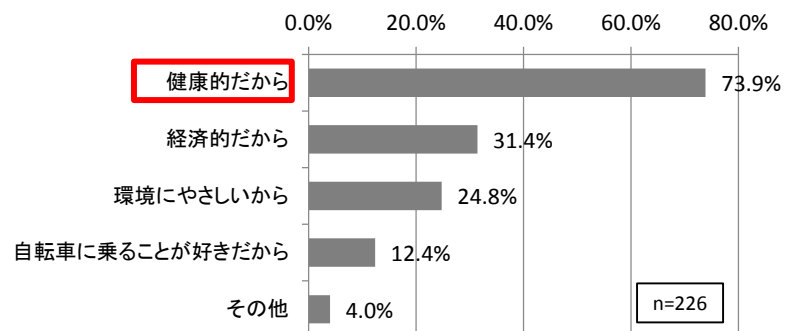
自転車を利用してみようと思う理由（質問 18 で「1. 思う」と答えた方のみ）を具体的にみると、「健康的だから」が7割以上で最も多く、近年の健康への関心の高さがうかがえるとともに、自転車の利用促進を図るうえで重要な視点となることが考えられます。

次いで、「経済的だから」「環境にやさしい」といった理由が多くなっています。

表一 自転車を利用してみようと思う理由 (M A)

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 健康的だから	167	73.9%	74.6%
2 経済的だから	71	31.4%	31.7%
3 環境にやさしいから	56	24.8%	25.0%
4 自転車に乗ることが好きだから	28	12.4%	12.5%
5 その他	9	4.0%	4.0%
無回答	2	0.9%	-
(合計)	333	147.3%	147.8%
n=	226	100.0%	224

図一 自転車を利用してみようと思う理由 (M A)



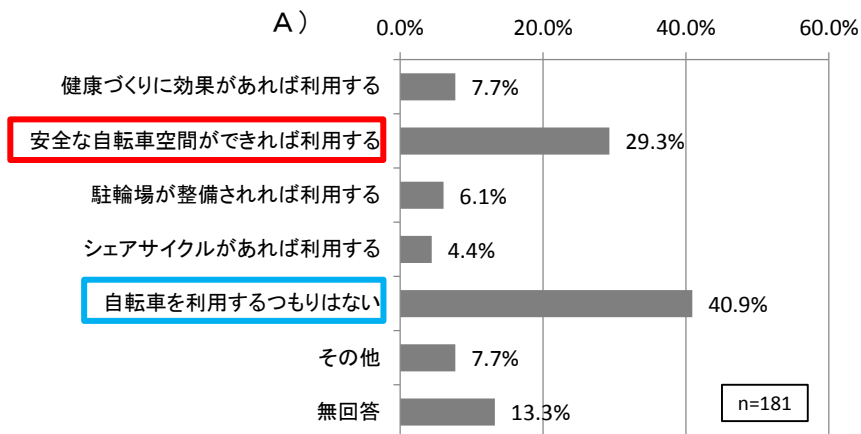
## ■18-2 自転車の利用促進策

どのようにしたら自転車を利用するか(質問18で「2. 思わない」と答えた方のみ)を具体的にみると、「利用するつもりはない」以外では「安全な自転車空間ができれば利用する」が約3割で多くなっており、自転車の利用促進を図るうえで、まずは走行環境整備が重要であると考えられます。

表一どのようにしたら自転車を利用するか (M

A)	選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1	健康づくりに効果があれば利用する	14	7.7%	8.9%
2	安全な自転車空間ができれば利用する	53	29.3%	33.8%
3	駐輪場が整備されれば利用する	11	6.1%	7.0%
4	シェアサイクルがあれば利用する	8	4.4%	5.1%
5	自転車を利用するつもりはない	74	40.9%	47.1%
6	その他	14	7.7%	8.9%
	無回答	24	13.3%	15.3%
	(合計)	198	109.4%	110.8%
	n=	181	100.0%	157

図一どのようにしたら自転車を利用するか (M



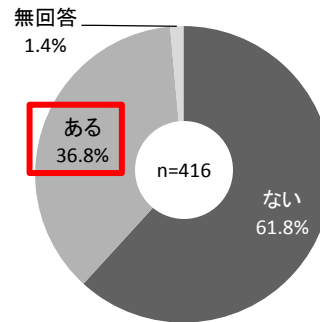
**【質問 19】サイクリングをしたことがあるか**

レクリエーションやスポーツとしてサイクリングをしたことがあるかをみると、「ない」が6割、「ある」が4割弱となっており、実際にサイクリングをレジャーとして楽しんだ経験のある人は比較的少なくなっています。

表一サイクリングをしたことがあるか (S A)

	選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1	ない	257	61.8%	62.7%
2	ある	153	36.8%	37.3%
	無回答	6	1.4%	-
n=		416	100.0%	410

図一サイクリングをしたことがあるか (S A)



**■19-1 どのような時にサイクリングをしたか**

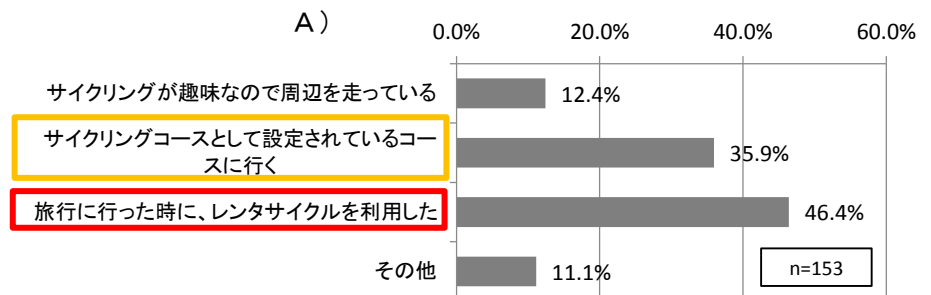
どのような時にサイクリングをしたか(質問19で「2. ある」と答えた方のみ)を具体的にみると、「旅行に行った時に、レンタサイクルを利用した」が4割以上で最も多く、次いで「サイクリングコースとして設定されているコースに行く」が多くなっています。

今後、観光や交流目的でのサイクリング普及に取り組む際には、気軽に利用できる環境づくりが重要と考えられます。

表一どのような時にサイクリングをしたか (M A)

	選択肢	回答数	構成比 (除無回答)	
1	サイクリングが趣味なので周辺を走っている	19	12.4%	12.5%
2	サイクリングコースとして設定されているコースに行く	55	35.9%	36.2%
3	旅行に行った時に、レンタサイクルを利用した	71	46.4%	46.7%
4	その他	17	11.1%	11.2%
	無回答	1	0.7%	-
(合計)		163	106.5%	106.6%
n=		153	100.0%	152

図一どのような時にサイクリングをしたか (M A)



## 6. 自転車利用の促進に必要な施策

### 【質問 20】 自転車の利用促進に必要な施策

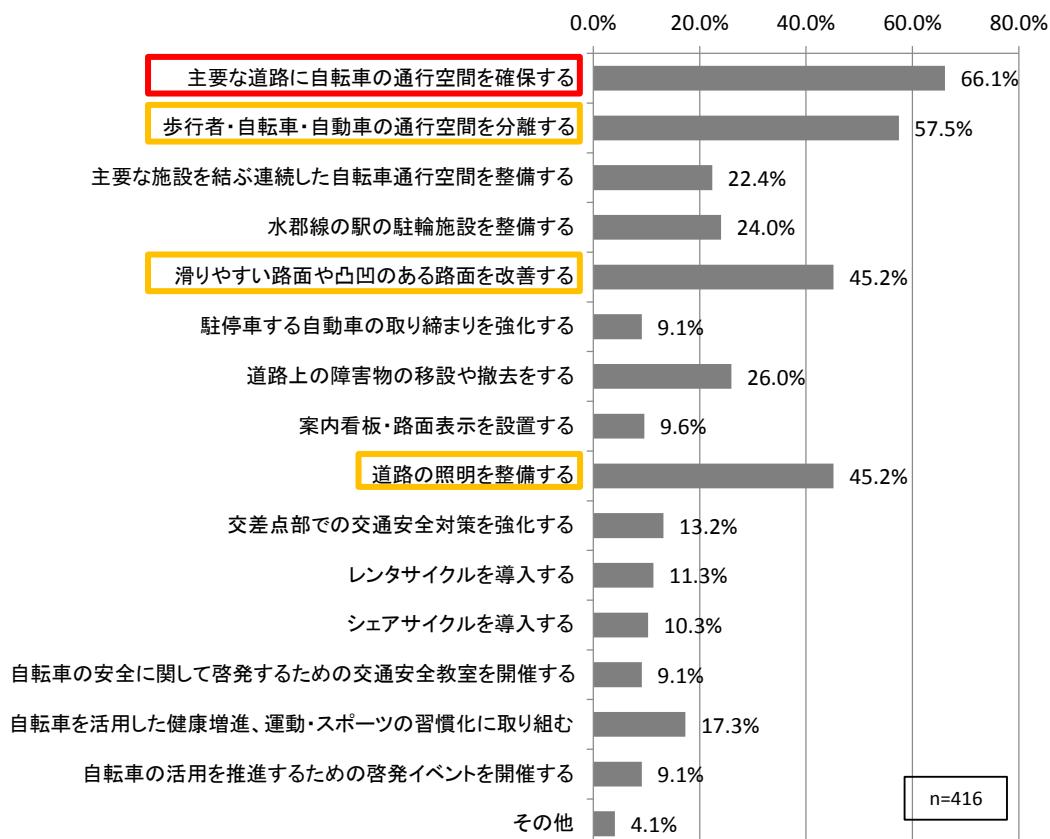
日常生活の中で自転車の利用を促進するために必要な施策をみると、「主要な道路に自転車の通行空間を確保」が7割弱で最も多く、次いで「歩行者・自転車・自動車の通行空間を分離」、「滑りやすい路面や凹凸のある路面を改善」、「道路の照明を整備」の順となっています。

今後、本市で自転車利用の促進を図るには、まず自転車が安全に走れる走行環境を整備することが最も重要な課題と考えられます。

表一自転車の利用促進に必要な施策（MA）

選択肢	回答数	構成比（除無回答）	
1 主要な道路に自転車の通行空間を確保する	275	66.1%	68.4%
2 歩行者・自転車・自動車の通行空間を分離する	239	57.5%	59.5%
3 主要な施設を結ぶ連続した自転車通行空間を整備する	93	22.4%	23.1%
4 水郡線の駅の駐輪施設を整備する	100	24.0%	24.9%
5 滑りやすい路面や凹凸のある路面を改善する	188	45.2%	46.8%
6 駐停車する自動車の取り締まりを強化する	38	9.1%	9.5%
7 道路上の障害物の移設や撤去をする	108	26.0%	26.9%
8 案内看板・路面表示を設置する	40	9.6%	10.0%
9 道路の照明を整備する	188	45.2%	46.8%
10 交差点部での交通安全対策を強化する	55	13.2%	13.7%
11 レンタサイクルを導入する	47	11.3%	11.7%
12 シェアサイクルを導入する	43	10.3%	10.7%
13 自転車の安全に関して啓発するための交通安全教室を開催する	38	9.1%	9.5%
14 自転車を活用した健康増進、運動・スポーツの習慣化に取り組む	72	17.3%	17.9%
15 自転車の活用を推進するための啓発イベントを開催する	38	9.1%	9.5%
16 その他	17	4.1%	4.2%
無回答	14	3.4%	-
(合計)	1,593	382.9%	392.8%
n=	416	100.0%	402

図一自転車利用を促進に必要な施策（MA）



## 質問 21 サイクリングの振興に必要な施策

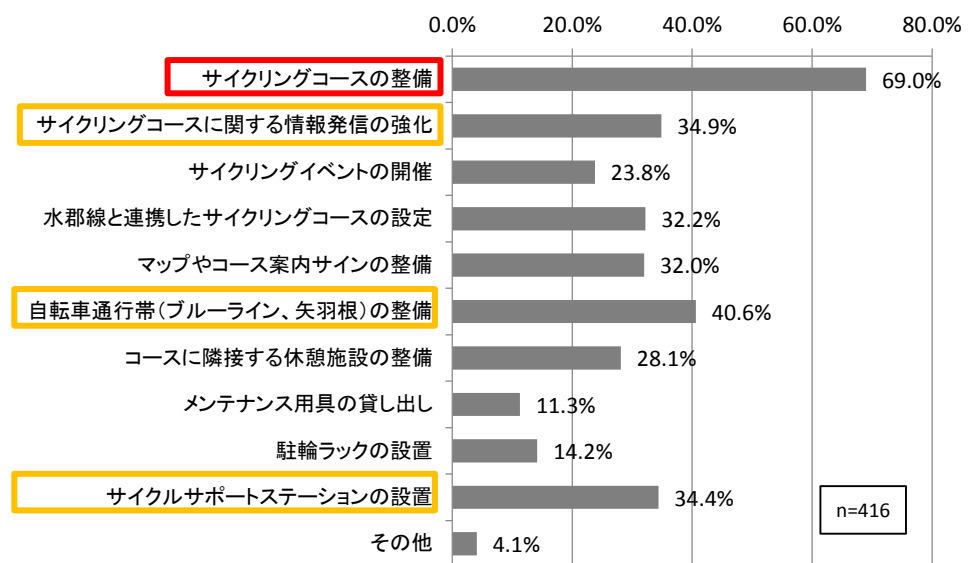
観光や交流の面で、サイクリングを振興するために必要な施策をみると、「サイクリングコースの整備」が約7割で最も多く、次いで「自転車通行帯（ブルーライン、矢羽根）の整備」、「サイクリングコースに関する情報発信の強化」、「サイクリングイベントの開催」などとなっています。

今後、観光や交流のためのサイクリング振興を図るには、まずサイクリングコースの設定とそれに伴うコースの環境整備が重要と考えられます。

表一サイクリングの振興に必要な施策（MA）

選択肢	回答数	構成比	(除無回答)
1 サイクリングコースの整備	287	69.0%	71.4%
2 サイクリングコースに関する情報発信の強化	145	34.9%	36.1%
3 サイクリングイベントの開催	99	23.8%	24.6%
4 水郡線と連携したサイクリングコースの設定	134	32.2%	33.3%
5 マップやコース案内サインの整備	133	32.0%	33.1%
6 自転車通行帯（ブルーライン、矢羽根）の整備	169	40.6%	42.0%
7 コースに隣接する休憩施設の整備	117	28.1%	29.1%
8 メンテナンス用具の貸し出し	47	11.3%	11.7%
9 駐輪ラックの設置	59	14.2%	14.7%
10 サイクルサポートステーションの設置	143	34.4%	35.6%
11 その他	17	4.1%	4.2%
無回答	14	3.4%	-
(合計)	1,364	327.9%	335.8%
n=	416	100.0%	402

図一サイクリングの振興に必要な施策（MA）





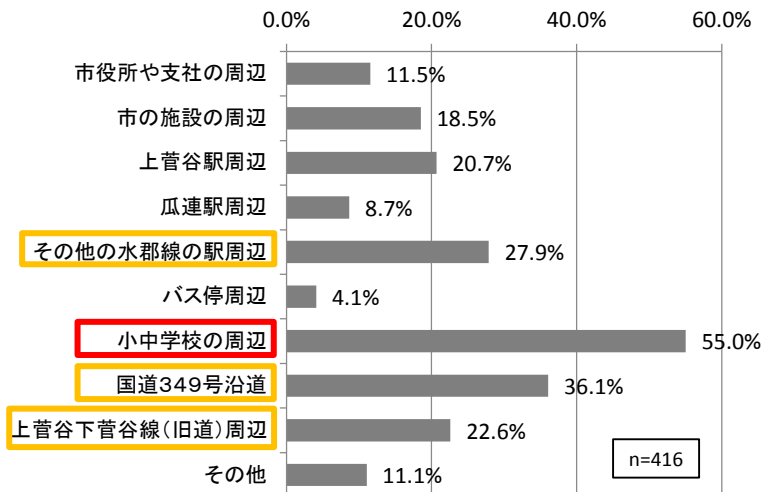
## 質問 22 安全対策を講じる必要がある場所

那珂市内で、特に自転車の安全対策を講じる必要がある場所をみると、「小中学校の周辺」が5割以上で、次いで「国道349号沿道」、「水郡線の駅周辺」、「上菅谷下菅谷（旧道）周辺」などが多くなっており、自転車を利用する学生が多い学校周辺や駅周辺、幹線道路などでの安全性の確保が重要であると考えられます。

表一安全対策を講じる場所（MA）

選択肢	回答数	構成比	（除無回答）
1 市役所や支社の周辺	48	11.5%	12.1%
2 市の施設の周辺	77	18.5%	19.4%
3 上菅谷駅周辺	86	20.7%	21.7%
4 瓜連駅周辺	36	8.7%	9.1%
5 その他の水郡線の駅周辺	116	27.9%	29.2%
6 バス停周辺	17	4.1%	4.3%
7 小中学校の周辺	229	55.0%	57.7%
8 国道349号沿道	150	36.1%	37.8%
9 上菅谷下菅谷線（旧道）周辺	94	22.6%	23.7%
10 その他	46	11.1%	11.6%
無回答	19	4.6%	-
（合計）	918	220.7%	226.4%
n=	416	100.0%	397

図一安全対策を講じる場所（MA）



## 質問 23 自転車で走ってみたい場所、サイクリスト向けに紹介したい場所

那珂市内及び周辺で、自転車で走ってみたい場所、サイクリスト向けに紹介したい場所をみると、「久慈川沿岸」「那珂川沿岸」の河川敷が多く、ほかに「静峰ふるさと公園周辺」、「笠松運動公園周辺」、「那珂総合公園周辺」、「県立植物園周辺」などが多くなっており、今後はこれらを活用したサイクリングコースの設定や整備に取り組むことが求められています。

表一安全対策を講じる場所（MA）

選択肢	回答数	構成比	（除無回答）
1 那珂川沿岸	131	31.5%	35.7%
2 久慈川沿岸	140	33.7%	38.1%
3 静峰ふるさと公園周辺	128	30.8%	34.9%
4 県立植物園周辺	103	24.8%	28.1%
5 那珂総合公園周辺	107	25.7%	29.2%
6 両宮遊歩道	10	2.4%	2.7%
7 一の関ため池親水公園	27	6.5%	7.4%
8 宮の池公園周辺	34	8.2%	9.3%
9 清水洞の上公園周辺	30	7.2%	8.2%
10 笠松運動公園周辺	122	29.3%	33.2%
11 額賀城跡周辺	23	5.5%	6.3%
12 その他	10	2.4%	2.7%
無回答	49	11.8%	-
（合計）	914	219.7%	235.7%
n=	416	100.0%	367

図一安全対策を講じる場所（MA）

